

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年12月号)

2023年12月26日



1. 今月のトピックス

- ・米大手旅行雑誌「コンデナスト・トラベラー」 アジア4位は神戸！ P.3～4
- ・IATA発表 2024年の世界航空旅客数予測 P.5
- ・じゃらん人気温泉地ランキング2024 P.6～7
- ・神戸観光局SNS情報 P.8
- ・今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング P.9～11

2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値] P.13～14
- ・ホテル平均稼働率 P.15

3. インバウンドに関する情報

- ・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 P.17～18
- ・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～英国～ P.19

4. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 P.21
- ・関空国際線就航状況・入国状況 P.22
- ・クルーズ船寄港状況 P.23
- ・クルーズ船 2024年1月以降の入港予定情報 P.24

5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況 P.26～28
- ・主要市内観光施設来場者数 P.29
- ・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館） P.30
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報（1～2月） P.31

● 参考資料集 P.32～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

- ◆ アメリカの大手旅行雑誌「コンデナスト・トラベラー（Condé Nast Traveler）」が「2024年のアジアで行くべき最高の場所トップ11」を発表。
- ◆ 神戸は日本から唯一選ばれ、4位にランクインした。

Kobe, Japan

Go for: new creative spaces, Japanese design, hip hotels



In Kobe, Japan, design-forward spaces, like the new Officine Universelle Buly skincare shop (left), are creatively building on its seafaring heritage

ランキング	都市	国
1位	バンコク チャイナタウン	タイ
2位	ダナン	ベトナム
3位	カトマンズ溪谷	ネパール
4位	神戸	日本
5位	コチ	インド

詳しくは、下記記事もご確認ください。

<https://www.cntravellerme.com/story/the-best-places-to-go-in-asia-in-2024>

日本語ニュース（ベトナムニュース総合情報サイトVIETJO [ベトジョー]）<https://www.viet-jo.com/news/tourism/231117122936.html>

出典：Condé Nast Traveler「The Best Places to Go in Asia in 2024」<https://www.cntravellerme.com/story/the-best-places-to-go-in-asia-in-2024>

「コンデナスト・トラベラー (Condé Nast Traveler)」とは

- ・旅行業界において世界的にも歴史が長く権威ある『コンデナスト・トラベラー (Condé Nast Traveler)』は、高所得者層を中心とした読者を持つ米国大手旅行雑誌のひとつであり、高品質の旅行、ホテル、レストラン、買い物などに関する最新情報を掲載し、読者数は約320万人にのぼる。
- ・同誌は『トラベル・アンド・レジャー (Travel + Leisure)』及び『ナショナル・ジオグラフィック (National Geographic)』と並んで人気の旅行雑誌に位置づけられている。
- ・10月3日に発表された読者投票ランキング「リーダーズ・チョイス・アワード」の「世界で最も魅力的な国」においては、日本が第1位（昨年第2位）に選出、その他、本アワードの人口50万人以上の大都市部門では東京が第2位に選出された。

出典：JNTO（日本政府観光局）米旅行雑誌の「世界で最も魅力的な国ランキング」で日本が第1位に選出！
<https://www.jnto.go.jp/news/press/20231004.html>

選出理由は？

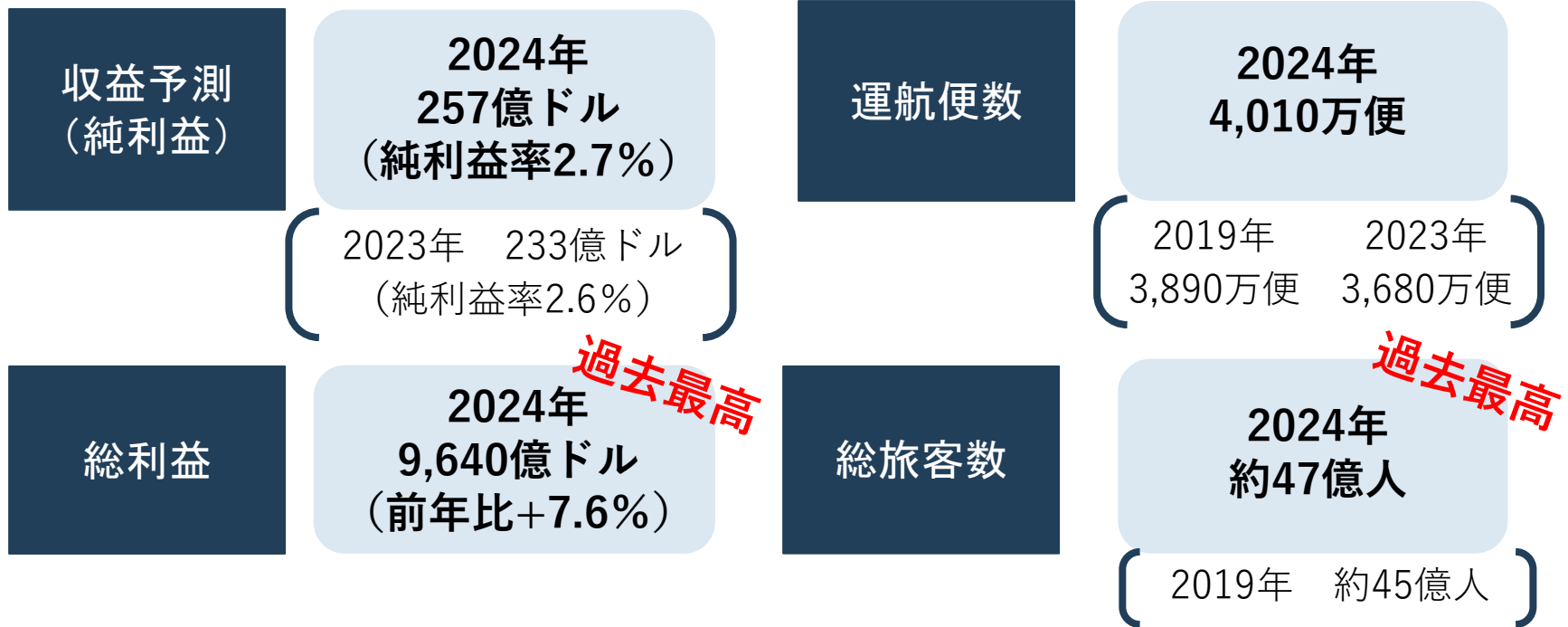
- ・山と海に囲まれた港町・神戸のデザイン性が評価されており、記事では、プロダクトデザインや空間デザイン、そしてクリエイティブディレクターである柳原照弘が率いるTERUHIRO YANAGIHARA STUDIOが2023年にオープンした「VAGUE KOBE」が紹介されている。
- ・また、フランスの老舗総合美容薬局「オフィシーヌ・ユニヴェルセル・ビュリー」のカフェ世界2店舗目が神戸に出店したことや、テイクアンドギヴ・ニーズが展開する「TRUNK HOTEL」の新ブランド「EVOL HOTEL（仮称）」が神戸三宮に出店することを挙げ、海外ブランドからも注目されている神戸の街並みが評価されているようだ。更には神戸ポートタワーのリニューアルオープンなど新しい施設が次々とオープンすることも期待値を高くしている。



IATA発表 2024年の世界航空旅客数は史上最多47億人と予測



- ◆ 国際航空運送協会（IATA）は、世界の航空会社の2024年の収益予測等を発表。
- ◆ 2024年は収益予測は、2023年純利益見込みを上回る257億ドルを予想。
- ◆ 2024年の世界総旅客数は、史上最多の47億人を見込む。



- ◆ IATAが11月に実施した旅客調査によると、以下のような回答が得られた。

<現在>

- ・パンデミック前よりも旅行に行っている：33%
- ・旅行の習慣がパンデミック前と似ている：49%

<今後>

- ・今後12か月間で過去12か月間よりも多くの旅行をする：44%
- ・今後、旅行の回数が減る：7%

出典：IATA プレスリリース <https://www.iata.org/en/pressroom/2023-releases/2023-12-06-01/>

日本語ニュース：トラベルボイス「2024年の世界の航空旅客数は史上最多の47億人と予測、総収益も過去最高か、国際航空運送協会が推計」

<https://www.travelvoice.jp/20231208-154720>

- ◆ じゃらんリサーチセンターより、今年も「人気温泉地ランキング2024」が発表
- ◆ 「もう一度行ってみたい」温泉地ランキングで、「有馬温泉」が5位にランクイン

全国人気温泉地ランキング (もう一度行ってみたい温泉地)

順位	都道府県	温泉地	票数	前年 順位
1	群馬県	草津温泉	2,918	(2)
2	神奈川県	箱根温泉	2,877	(1)
3	愛媛県	道後温泉	2,187	(4)
4	北海道	登別温泉	2,053	(3)
5	兵庫県	有馬温泉	1,622	(7)
6	熊本県	黒川温泉	1,590	(6)
7	大分県	別府温泉郷	1,566	(5)
8	静岡県	熱海温泉	1,490	(8)
9	岐阜県	下呂温泉	1,455	(10)
10	大分県	由布院温泉	1,308	(9)

■ 「もう一度行ってみたい」上位5温泉地の順位変動 (2007年版～2024年版)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (準版)
草津温泉	3位	3位	3位	3位	3位	3位	3位	2位	3位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	1位	2位	1位
箱根温泉	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	1位	2位
道後温泉	7位	6位	6位	6位	5位	6位	7位	6位	6位	6位	6位	6位	4位	4位	4位	4位	4位	3位
登別温泉	4位	4位	4位	4位	4位	4位	4位	5位	5位	5位	5位	5位	3位	3位	3位	3位	3位	4位
有馬温泉	12位	12位	13位	9位	15位	11位	9位	9位	9位	9位	9位	9位	7位	6位	7位	6位	7位	5位

- ▲ 「有馬温泉」が調査開始以来徐々に順位を伸ばしており、初の上位5温泉にランクインとなった。
- ▼ 「有馬温泉」の選択理由としては「街の雰囲気」「効能や泉質」が主だが、「交通」の利便性も評価されている。

■ 「もう一度行ってみたい」選択理由 (各選択者：複数回答5つまで)

5位 有馬温泉 (n=1,622)

選択項目 (全12項目のうち7項目を抜粋)



手頃	手頃な料金で行けるから
効能や泉質	温泉の効能や泉質が気に入っているから
温泉以外	温泉以外も楽しめるから
観光スポット	周辺の観光スポットが充実しているから
自然	自然に囲まれているから
街の雰囲気	街の雰囲気が好きだから
交通	交通の便が良いから

- ◆ 居住地別で見ると、北陸・関西圏の1位は「有馬温泉」。
関西圏以外でも、東海や、新たに中国・四国でもランクインした。
- ◆ 年代別で見ると、30代・50代のランキングに新たに有馬温泉がランクインするなど、居住地別／年代別ともに人気を上げているのが分かる。

■ 居住地別 全国人気温泉地ランキング（もう一度行ってみたい温泉地）

☆＝前年6位以下の温泉地

東海居住者（n=2,173）

順位	都道府県	温泉地	票数
1	岐阜県	下呂温泉	525
2	神奈川県	箱根温泉	423
3	群馬県	草津温泉	400
4	岐阜県	奥飛騨温泉郷	367
5	兵庫県	有馬温泉	302

北陸・関西居住者（n=2,980）

順位	都道府県	温泉地	票数
1	兵庫県	有馬温泉	656
2	兵庫県	城崎温泉	655
3	愛媛県	道後温泉	523
4	岐阜県	下呂温泉	380 ☆
5	北海道	登別温泉	362

中国・四国居住者（n=1,186）

順位	都道府県	温泉地	票数
1	愛媛県	道後温泉	358
2	島根県	玉造温泉	217
3	大分県	別府温泉郷	215
4	兵庫県	有馬温泉	213 ☆
5	兵庫県	城崎温泉	195

■ 年代別 全国人気温泉地ランキング（もう一度行ってみたい温泉地）

☆＝前年6位以下の温泉地

30代（n=1,518）

順位	都道府県	温泉地	票数
1	神奈川県	箱根温泉	320
2	群馬県	草津温泉	233
3	愛媛県	道後温泉	190 ☆
4	静岡県	熱海温泉	166
5	兵庫県	有馬温泉	155 ☆

50代（n=5,383）

順位	都道府県	温泉地	票数
1	群馬県	草津温泉	1,022
2	神奈川県	箱根温泉	941
3	愛媛県	道後温泉	790
4	北海道	登別温泉	692
5	兵庫県	有馬温泉	551 ☆



昨年の1月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

↑ いいね数 上位ランキング

観光スポット編

1月は
新年・パワースポット
がキーワード!

2023年1月

BEST 1



2023/1/11

BEST 2



2023/1/1

BEST 3



2023/1/20

BEST 4



2023/1/27

BEST 5



2023/1/10

2023年1月は「神戸の絶景パワースポット」が**1位**に。市街地近くを歩いていると突然現れる、全長194mの巨大な五色塚古墳を動画にて紹介。

2位⇒「2023年のスタートに神戸の初詣スポット3選」。神戸三社参りで知られる「生田神社」「湊川神社」「長田神社」を紹介。

3位⇒「南京町で春節を楽しむ」。春節のイベントを楽しみながらスイーツやショッピングを満喫する様子を投稿。

4位⇒「神戸で動物と触れ合う」。2023年の干支、兎をはじめ色んな動物と間近で触れ合える「神戸どうぶつ王国」の魅力を動画で紹介。

5位⇒「相楽園で新年をお祝い」。和と洋が混在する神戸らしい空間、相楽園で新年のお祝いを行う場面を紹介した投稿。



2023/1/18



2023/1/25



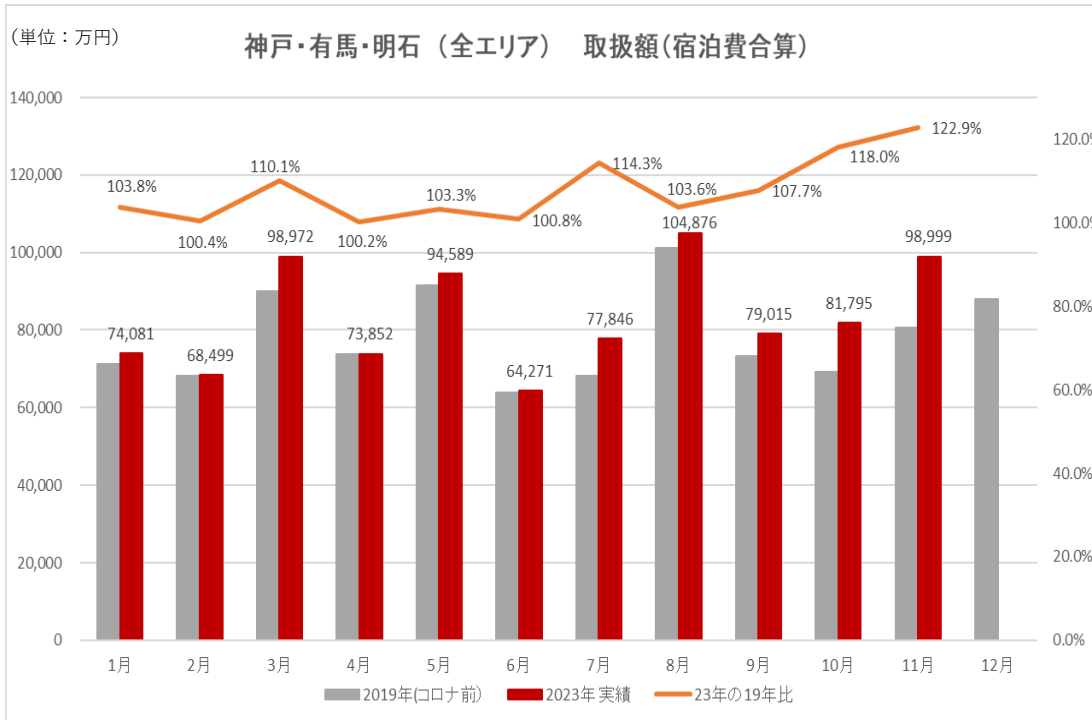
スポット以外の記事では、「神戸ではっきり落ち着く老舗和菓子屋さん3選」「神戸のホテルで楽しむいちごスイーツ3選」の記事が高いエンゲージメントを獲得。和洋それぞれのスイーツ記事への興味関心の高さが窺える。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA取扱状況について

- 11月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比同月比 122.9%、人泊数：110.5%、単価：111.2%。
- コロナ前に届かない月も多かった人泊数については、10月以降回復傾向。11月は110.5%と好調。
- 全体的に単価の上昇が顕著だが、本国内OTA上では、有馬の客室平均単価は、箱根を超えて温泉エリアで日本一に。
- その影響もあり、有馬にあっては、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられており、本国内OTA上では今後、国内旅行者の人泊数の変動を注視していく必要がある。
- 市街地にあっては、人手不足により販売部屋数を抑えつつ、単価を上げることで売上を維持しているホテルが増加。

【実績】



2019年度比

	9月	10月	11月
全市			
取扱額	107.7% (92.8%)	118.0% (117.6%)	122.9% (101.7%)
人泊数	99.5% (90.1%)	108.0% (109.7%)	110.5% (98.4%)
市街地			
取扱額	110.1% (92.3%)	121.2% (121.6%)	123.2% (102.0%)
人泊数	99.7% (90.6%)	112.1% (111.4%)	111.2% (101.7%)
有馬			
取扱額	91.7% (88.4%)	107.2% (101.3%)	113.3% (96.5%)
人泊数	81.0% (80.2%)	93.2% (94.7%)	94.9% (87.9%)

黒太字は

2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

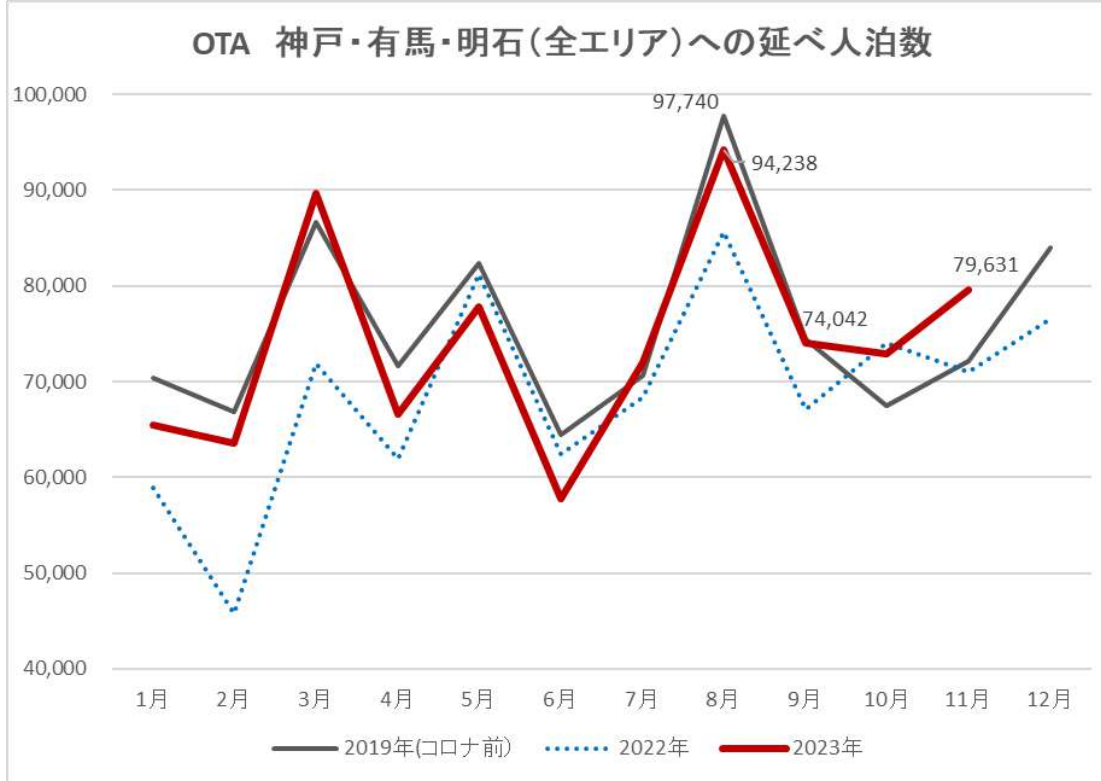


【DATAに関する基本情報】

- ・ 某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・ 神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

【グラフA】

（単位：人泊）

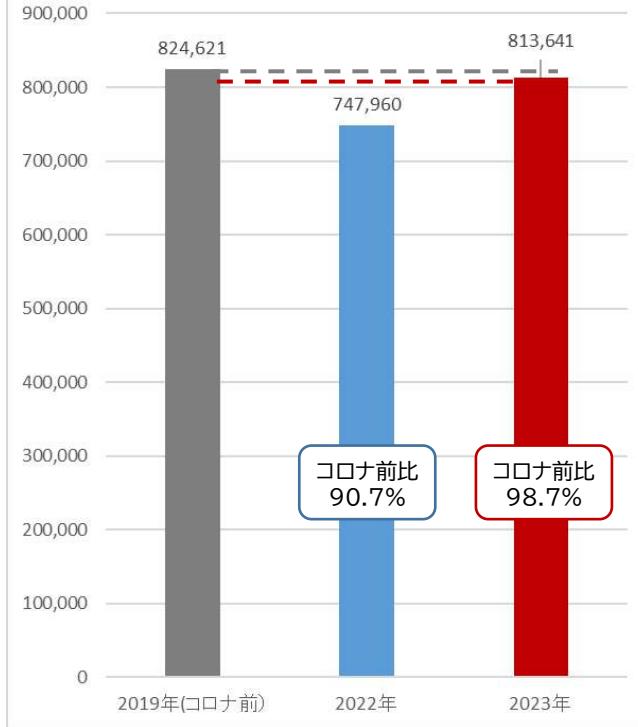


【グラフB】

OTA（単位：人泊）

神戸・有馬・明石（全エリア）

1～11月までの延べ人泊数累計比較



【考察① グラフ〔A〕 2023年度 延べ人泊数の推移】

- ・ 2023年 1-11月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。長らく2019年比▲1%～▲10%で推移していた。（インバウンドが回復傾向のため、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない月もあった。）
- ・ 7月以降は2019年とほぼ同水準。10月以降2019年を上回る勢いを見せ、11月は2019年(6万7443人泊)の110%にあたる7万9631人泊となった。

【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1～11月延べ人泊数累計の比較】

- ・ 2023年11月までは、81万3641人泊で、2019年（コロナ前・82万4621人泊）の98.7%まで回復
- ・ 2022年11月までの累計（2022年・74万7960人泊）と比較すると、前年比108.8%。
- ・ 10月以降はコロナ前を超えて回復しており、年間人泊数もコロナ前にほぼ戻ったとみてよい。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



【予約】

黒太字は
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

【神戸市】 2019年比〔取扱額〕

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全市						
12.17時点	117.4% (109.6%)	128.3% (126.2%)	160.8% (186.7%)	181.0% (173.8%)	152.7% (194.1%)	133.0% (220.5%)
11.12時点	129.8% (103.3%)	140.8% (130.2%)	178.9% (206.9%)	190.8% (192.8%)	129.7% (206.5%)	—
市街地						
12.17時点	121.6% (113.3%)	140.3% (139.1%)	151.9% (175.5%)	187.5% (191.2%)	123.2% (183.6%)	120.0% (228.1%)
11.12時点	125.5% (109.7%)	155.2% (155.1%)	161.9% (188.2%)	204.2% (218.0%)	96.9% (228.6%)	—
有馬						
12.17時点	97.6% (104.0%)	102.9% (109.0%)	154.6% (187.9%)	137.2% (129.2%)	174.1% (220.4%)	114.2% (166.1%)
11.12時点	119.3% (96.0%)	120.9% (110.7%)	187.2% (225.7%)	165.8% (168.2%)	183.9% (328.7%)	—

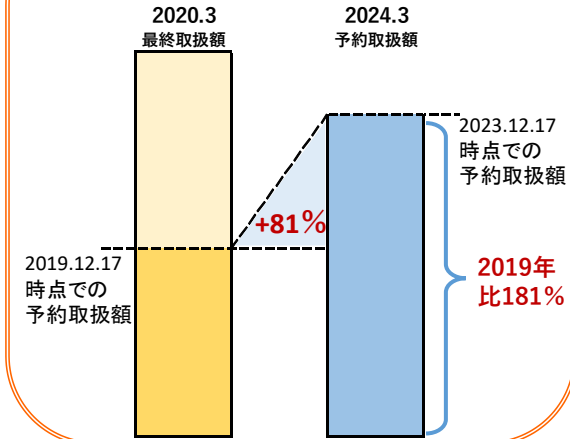


国内OTA予約データは、2019年度と比較した**予約の勢いを確認するデータ**です。（下図参照）
2019年度同月実績との比較ではありません。
※最終的な2023年各月実績の2019年比は前2ページに掲載

【参考：他エリア比較】 2019年比〔取扱額〕

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
淡路島						
12.17時点	125.6% (103.3%)	159.7% (105.8%)	202.6% (123.2%)	225.7% (116.9%)	248.1% (91.1%)	250.6% (90.2%)
11.12時点	150.6% (87.0%)	166.0% (98.5%)	274.1% (137.3%)	247.8% (113.0%)	290.3% (94.4%)	—
城崎						
12.17時点	101.9% (110.4%)	118.2% (103.6%)	151.7% (138.8%)	168.4% (140.8%)	191.0% (126.0%)	159.4% (181.5%)
11.12時点	116.7% (98.1%)	140.1% (112.7%)	187.5% (154.9%)	208.1% (154.1%)	353.9% (192.2%)	—
大阪市エリア						
12.17時点	153.2% (93.8%)	157.0% (129.7%)	191.2% (183.9%)	228.7% (179.2%)	244.2% (260.6%)	152.5% (177.8%)
11.12時点	179.6% (99.4%)	159.3% (147.7%)	186.0% (237.1%)	219.5% (221.4%)	266.0% (268.1%)	—
京都市エリア						
12.17時点	133.9% (91.1%)	141.6% (124.1%)	174.1% (195.9%)	169.4% (194.2%)	164.4% (172.0%)	119.6% (184.1%)
11.12時点	157.3% (126.8%)	145.2% (135.0%)	179.0% (213.5%)	188.4% (245.4%)	133.6% (189.4%)	—
東京23区エリア						
12.17時点	139.5% (121.2%)	153.8% (151.5%)	190.7% (200.1%)	190.0% (213.9%)	184.8% (255.4%)	65.5% (236.6%)

国内OTA 予約データの見方 (例) 全市 2024年3月



- 神戸市全域における先予約は、年末の12月：117%、年始含む1月が128%と堅調。更に、2月～春先の予約も好調な動きが見られる。全体としてコロナ前を超えるスピード感で予約が入っている状況。2024年1月は、ルミナリエの開催もあり、市街地を中心とした宿泊予約の動向に注目したい。
- ここ数か月、訪日外国人客（インバウンド）の予約数が増加する中で、国内旅行者向けの客室提供への影響も出てきており、その影響で国内旅行者の早期予約を後押ししているとも考えられる。他の地域でも早期予約の傾向が強まっていることに着目し、コロナ前よりも宿泊施設がリードタイムを伸ばす取り組み（ゴールド会員限定のプラン販売、〇〇日前までの予約でお得など）を実施している。
- 市街地は大阪、京都と同じく、単価の増加に加え、グループサイズが大きくなってきている傾向。1名宿泊の割合が減り、2名以上（友人、ファミリー）のグループでの宿泊が増えている。
- 有馬はインバウンドの増加により、国内OTA上は人泊数が減少傾向と予想。単価の上昇により取扱額は2019年と同程度。（城崎も同様の傾向。）

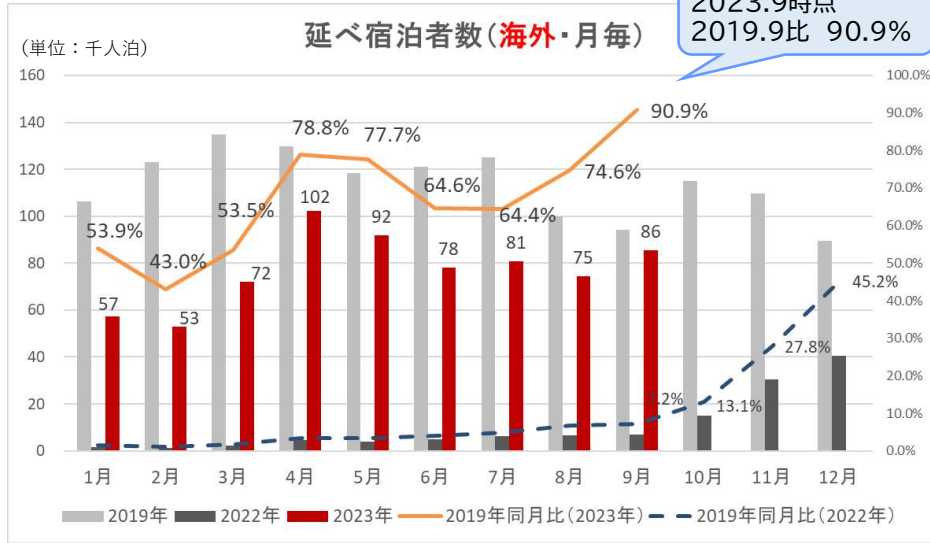
定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.9まで



【兵庫県】



※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

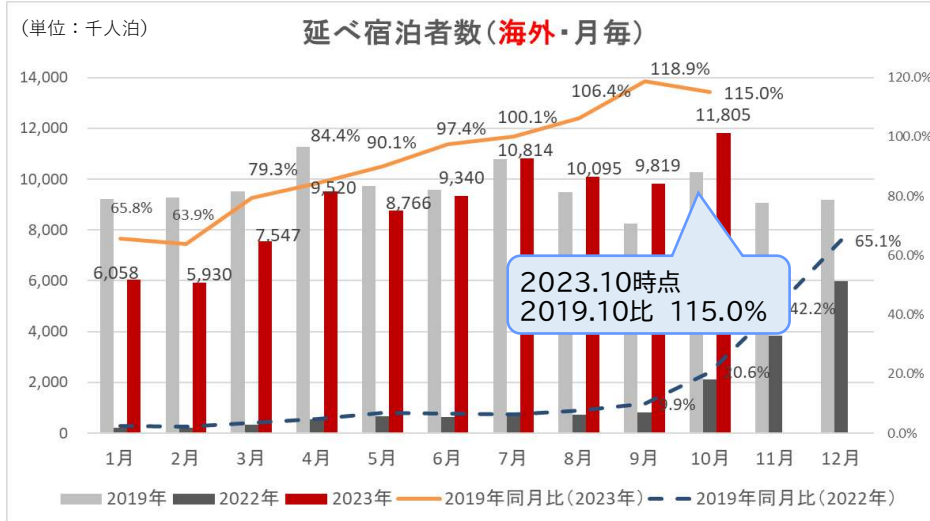
傾向

兵庫県	コロナ前比 約9割(9月) 全国の回復状況と比較すると、回復鈍化
全国	コロナ前比 約10割超(7月~) 全国的にはコロナ前を超えて回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

【全国】

※R5.10推計値まで



【分析コメント】

- 全国の外国人延べ宿泊者数がコロナ前を超える勢い。国籍別内訳では、1位 中国、2位 韓国、3位 台湾。多くの国で2019年を上回る回復率を見せており、特に2019年同月比で最も伸びたのは韓国(+238.6%増)。
- 都道府県別では、トップ3は、依然、**東京、大阪、京都**。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。東京はコロナ前の1.5倍。
- 兵庫県は、2019年9月比では**9割程度**の回復率。2023年4月以降、約6~7割で推移しており、9割まで回復するのはコロナ禍後初めて。
- 依然、地域・都道府県によって回復率にかなりのばらつきが生じている。

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

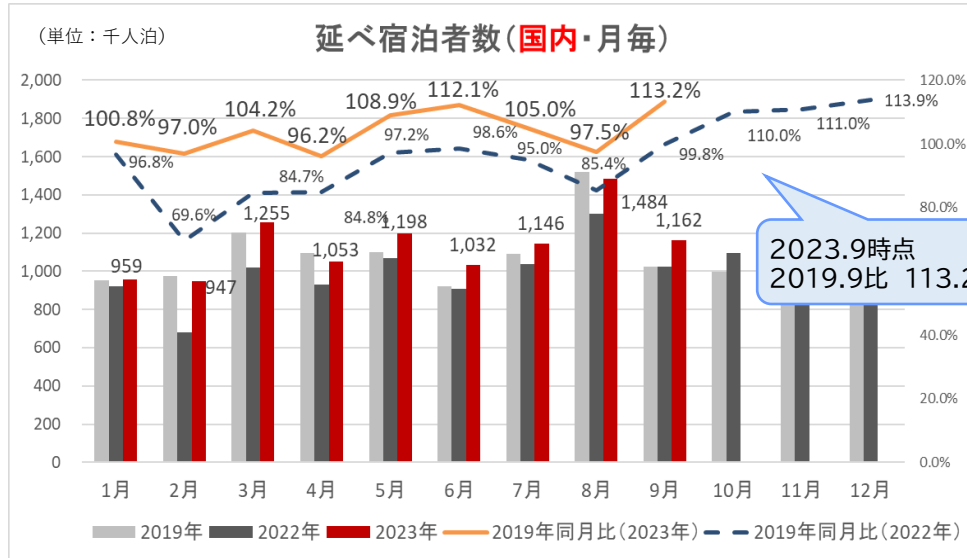
- ・令和5年9月 第2次速報値
- ・令和5年10月 第1次速報値

📌【全国】外国人延べ宿泊者数
国籍別は[35ページ](#)、都道府県別は[36ページ](#)へ

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.9まで



【兵庫県】



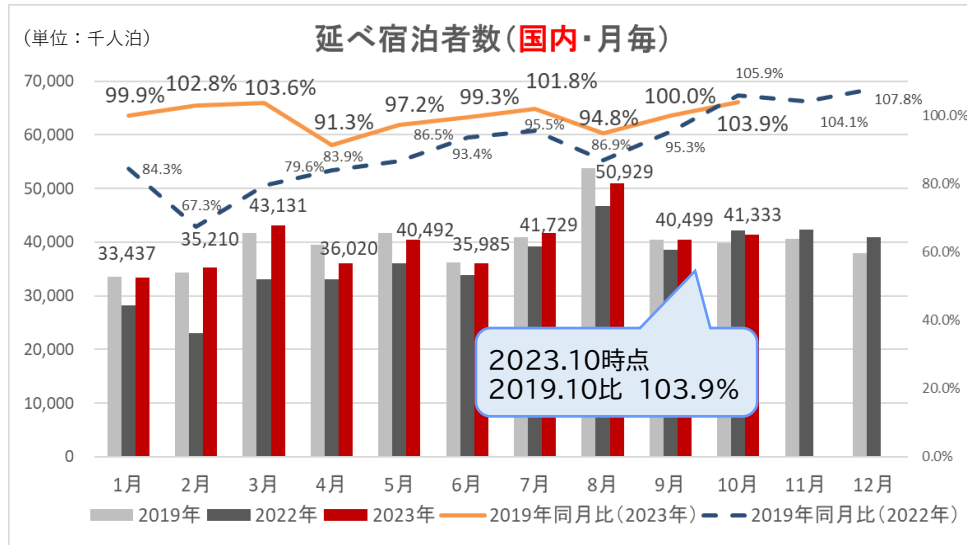
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

傾向

兵庫県
・全国

コロナ前比と同水準に回復

【全国】 ※R5.10推計値まで



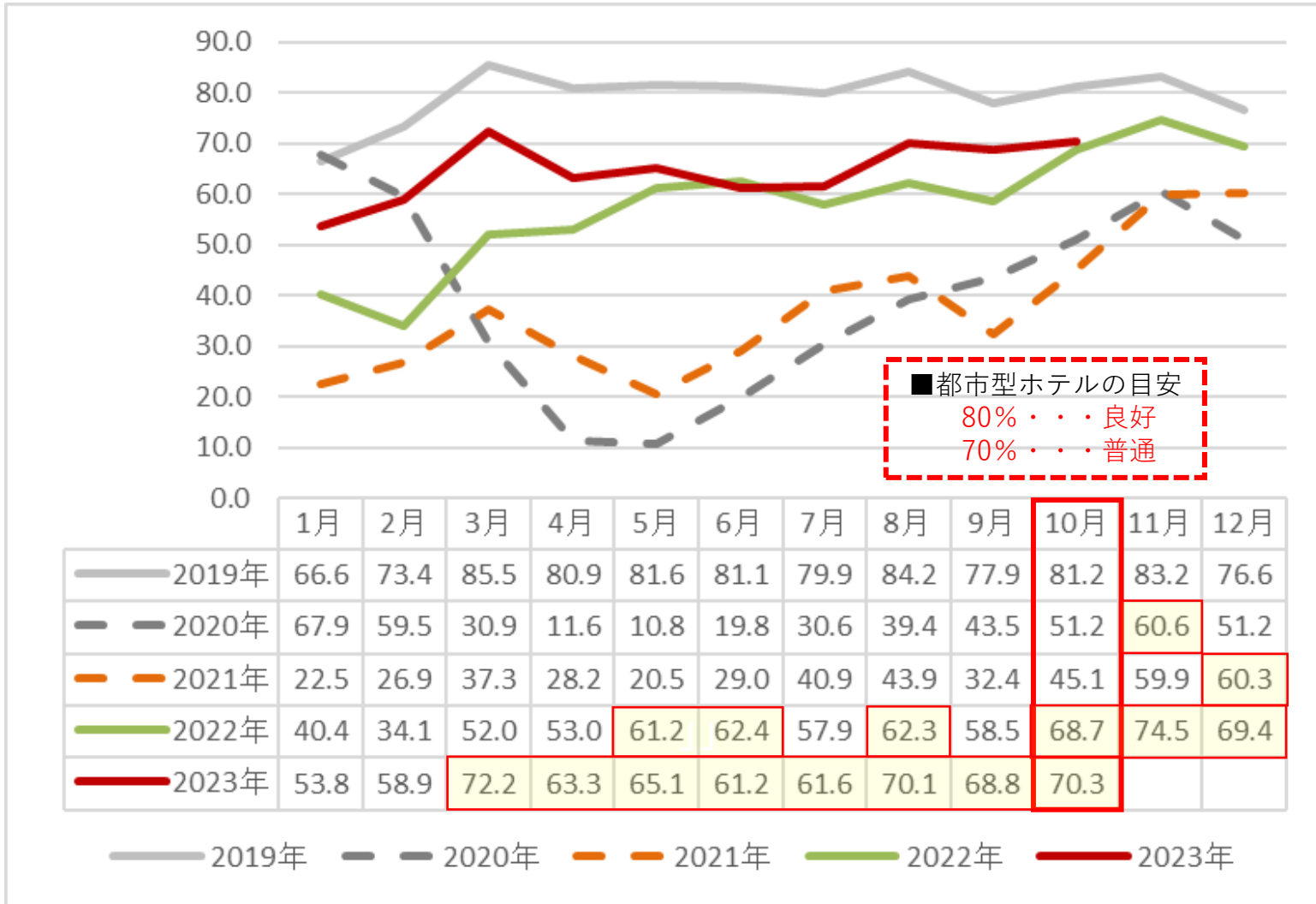
※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年9月 第2次速報値
- ・令和5年10月 第1次速報値



市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
10月 国内ホテル稼働率
全国：78.5%
(前月比 2.7pt)

10月のホテル平均稼働率は、前月比2.7ポイント高い78.5%だった。新型コロナウイルス禍による低迷からの回復を受けた上昇基調が続く、コロナ禍に入って以降の最高を7カ月ぶりに更新した。円安などの後押しもあり欧米など長期滞在の訪日客が増加している影響が大きい。

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)

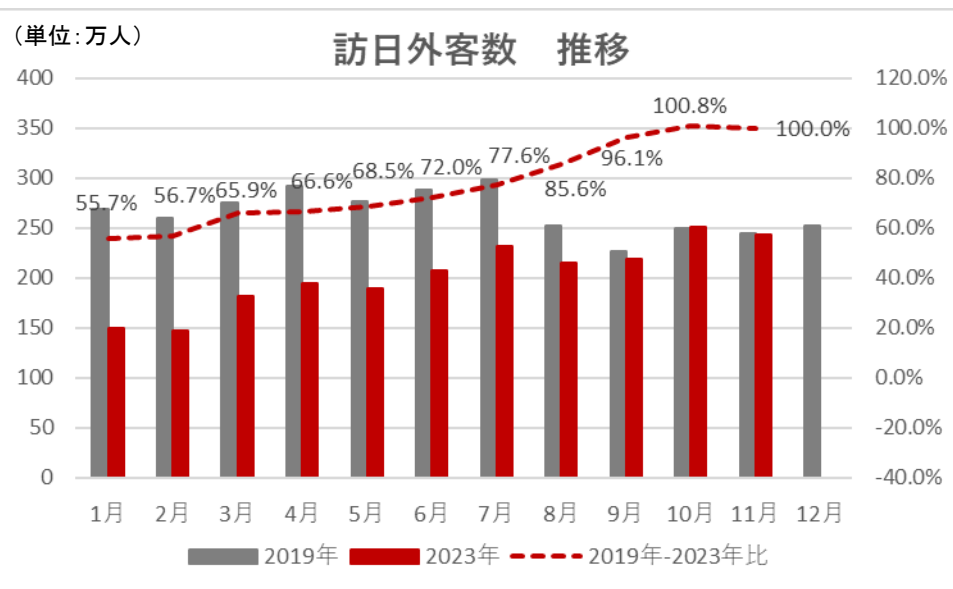


訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
9月	2,272,883名	2,184,442名	96.1%
10月	2,496,568名	2,516,500名	100.8%
11月	2,441,274名	2,440,800名	100.0%

- ・ **11月は2019年同月とほぼ同数の244万人**を記録した。
- ・ なお、**2023年の累計(1~11月)は2200万人超**となり、12月が2019年と同水準の外客数があった場合、**2023年年間で2500万人に近づく見込み**。
- ・ 韓国がコロナ前と比較して3倍近くの伸びを見せるなど、**東アジアが外客数を牽引**。その他、東アジアや東南アジア、北米豪など**13市場において、11月として過去最高値を記録**。
- ・ 一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、**受入体制が追い付かない**事態もあり、来訪者のマネジメントが課題になっている。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1	2,689,339	1,497,472	-44.3
Jan	(2,345,029)	(1,308,606)	(-44.2)
2	2,604,322	1,475,455	-43.3
Feb	(2,341,479)	(1,297,456)	(-44.6)
3	2,760,136	1,817,616	-34.1
Mar	(2,411,650)	(1,582,518)	(-34.4)
4	2,926,685	1,949,236	-33.4
Apr	(2,640,569)	(1,738,172)	(-34.2)
5	2,773,091	1,699,176	-31.5
May	(2,455,865)	(1,656,118)	(-32.6)
6	2,680,041	2,073,441	-28.0
Jun	(2,614,533)	(1,882,296)	(-28.0)
7	2,991,189	2,320,694	-22.4
Jul	(2,713,329)	(2,108,438)	(-22.3)
8	2,520,134	2,157,190	-14.4
Aug	(2,206,746)	(1,897,129)	(-14.0)
9	2,272,883	2,184,442	-3.9
Sep	(1,913,105)	(1,905,162)	(-0.4)
10	2,496,568	2,516,500*	0.8*
Oct	(2,177,382)		
11	2,441,274	2,440,800*	0.0*
Nov	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec	(2,292,029)		
1~11	29,355,862	22,332,000*	-23.9*
Jan-Nov	(25,965,112)		
1~12	31,882,049		
Jan-Dec	(28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。



- 2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ ツアーに限定した訪日観光が再開。
- 9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージ ツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
- 10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。
- 2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO) 12/20プレスリリース「訪日外客数(2023年11月推計値)」

2023年11月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

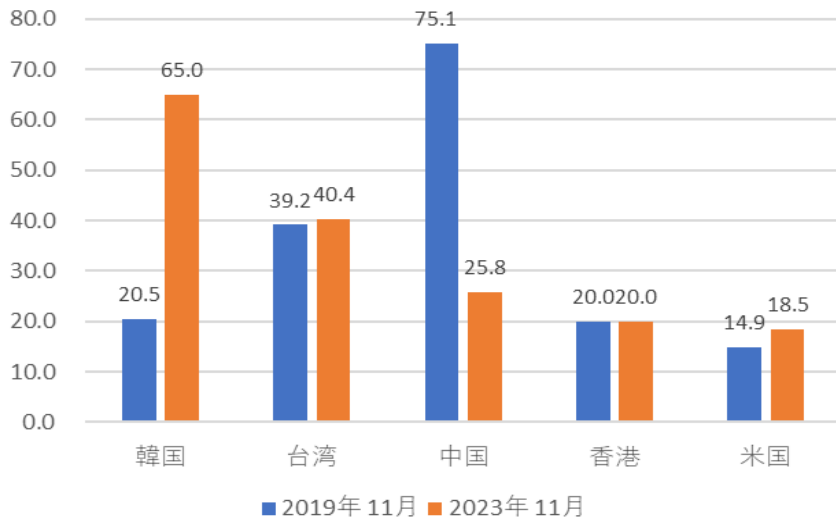


国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 11月	2023年 11月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～11月	2023年 1月～11月	(順位)	2019比 (%)
韓国	205,042人	649,900人	(1位)	317.0%	5,336,638人	6,175,800人	(1位)	115.7%
台湾	392,102人	403,500人	(2位)	102.9%	4,542,333人	3,802,900人	(2位)	83.7%
中国	750,951人	258,300人	(3位)	34.4%	8,884,160人	2,112,600人	(3位)	23.8%
香港	199,702人	200,400人	(4位)	100.3%	2,041,150人	1,863,300人	(4位)	91.3%
米国	148,993人	184,800人	(5位)	124.0%	1,579,363人	1,862,800人	(5位)	117.9%



引き続き韓国がコロナ前と比較して約3倍。
中国以外の東アジアはコロナ前まで完全回復。

訪日外客数 各国・地域別ランキング



11月動向

- 11月の訪日外客数は、2019年同月とほぼ同数となる2,440,800人となり、6か月連続で200万人を超えた。なお、11月までの累計では22,332,000人と2,000万人を突破した。
- 東南アジアではシンガポール、欧米豪中東地域においては米国などで訪日外客数が増加したことが、今月の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年冬ダイヤ時点においてコロナ禍前の約8割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 23市場のうち13市場（韓国、台湾、香港、シンガポール、インドネシア、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、イタリア、スペイン）において11月として過去最高を記録した。
- 個人観光再開から1年が経過し、訪日外客数は堅調に回復をしているところ、今後も、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の実現に向け、市場向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。



- ・人口・・・6,789万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：4万3千米ドル → 2021：4万7千米ドル
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：666億米ドル → 2018：707億米ドル → 2019：706億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：31万人 → 2018：33万人 → 2019：42万人



- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性 = 64:36 / 男性の約8割が20～40代
2021 男性：女性 = 74:26 / 男性の約7割が30～50代
※50代の割合が急増
- ・情報収集媒体・・・① TripAdvisor(40.9%) ②BBC(25.6%) ③Lonely Planet(20.3%)

英国の最新情報ひとことメモ

・英国人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

英国人は、ビーチホリデーを楽しむ＝南下傾向にあり、特に、コロナ禍以降、東欧圏やスペイン領をはじめとしたEU圏で家族と過ごすことのできる場所を求める傾向が強い。アジア圏での旅行としては、「ビーチホリデー×アジア」で、タイが圧倒的な人気を誇る。

訪日旅行トレンドは、これらの動きとは全く別であり、英国では、郊外や地方に住むことが一種のステータスになることから、訪日旅行においても地方への関心は高い。なお、英国でも若年層はアニメ等の影響から訪日旅行を計画する層が増えており、伝統文化だけではなく、現代日本への興味は強くなってきている。

・神戸観光局の動き

英語圏向けにトップインフルエンサー(フォロワー100万人以上を含む)6アカウント、訪日観光メディア2アカウントから情報発信(例：<https://www.youtube.com/@LifeWhereImFrom>)を実施。

大阪市、堺市、姫路市、高野町とともに連携し、関西の周遊を軸にした訴求を行い、誘客につなげるために、欧州最大級のB to B 旅行商談会「World Travel Market 2023」に出展を行い(2023年10月)、メディアFAMも実施予定(2024年1月)。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 8月	9月	10月
総旅客数(人)	2,265,940	2,101,187	2,279,864
2019年比	▲29%	▲15%	▲10%
国際線 発着数(回)	9,903	9,918	10,361
2019年比	▲28%	▲22%	▲19%
国際線 旅客数(人)	1,646,852	1,494,602	1,658,340
2019年比	▲26%	▲20%	▲15%
うち外国人 旅客数(人)	1,211,871	1,114,589	1,328,258
2019年比	▲12%	▲4%	+1%
国内線 旅客数(人)	619,088	606,585	621,524
2019年比	▲6%	+2%	+10%

神戸	2023年 8月	9月	10月
国内線 発着数(回)	2,919	2,897	3,090
2019年比	+7%	+4%	+11%
国内線 旅客数(人)	313,651	296,352	312,315
2019年比	▲5%	▲2%	+6%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・10月の関西国際空港における航空旅客数は、前月比108.5%。コロナ禍前（2019年比）90%となっており、順調に回復。
- ・外国人旅客数の10月は前月比119%。2019年のコロナ禍前の同月比を1%上回る人数となった。
- ・神戸空港発着回数は、2019年比111%、前月比105%。旅客数は2019年比116%となり、増加傾向。
- ・神戸空港で、前月比最も便数が増えたのは、沖縄（115%）次いで下地島（109%）。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は [39ページ](#)、
2023年8月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は [40ページ](#)へ



出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 12月21日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年1月	2023年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	5	4	4	4	3	3	3
豪州	12	5	5	7	7	7	5	7
米国	78	11	11	11	14	14	14	14
中国	630	161	157	197	213	227	221	198
台湾	169	101	94	112	119	112	112	112
香港・マカオ	117	82	96	94	96	134	124	122
韓国	244	246	296	263	310	325	313	338
タイ	47	36	42	42	43	47	47	49
マレーシア	14	18	18	18	21	21	21	21
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	21	21	21	21	21	28	28

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比99.3%

便数前月比

韓国が108%の増便、
中国が89.5%の減便。

※12月21日現在の運行状況
(過去の月は本レポート更新時の運行状況)

出典: 関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年1月	2023年6月	7月	8月	9月
英国	3,526	2,671	3,618	3,087	3,829
フランス	2,271	3,374	4,556	3,866	3,567
豪州	11,956	5,653	4,118	3,498	10,448
米国	12,756	29,567	20,859	13,484	14,876
中国	328,191	92,662	124,678	151,351	127,624
台湾	102,205	101,540	99,848	100,327	94,542
香港	51,421	51,857	61,447	57,539	41,114
韓国	85,174	173,348	190,709	173,645	190,900
タイ	22,458	14,466	14,669	9,105	16,044
マレーシア	11,684	7,220	5,167	5,883	9,465
インドネシア	8,866	8,762	6,226	4,349	7,105
シンガポール	6,237	15,370	6,290	4,706	10,300

ターゲット12か国合計、前月比99.8%

- ランキング及び前月比
 - ・1位 韓国：110%
 - ・2位 中国：84%
 - ・3位 台湾：94%
- 中国が前月15.1万人から12.7万に減少。
- 豪州からの入国者数が前月比299%、現地の小中高大の大型連休の影響が要因のひとつと推察される。
- その他、前月比大幅に増えているのはシンガポール(219%)、タイ(176%)、インドネシア(163%)、マレーシア(161%)。

前月比 99.7%

※2023.11月速報値
関空入国者数：663,795人 (10月：665,571人 9月：591,610人)

出典: 総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤



		11月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	13	9	13	144%	100%	70	119	150	59%	47%
	船客数	10,813	1,176	14,978	919%	72%	56,745	26,683	180,727	213%	31%

ポートターミナル		11月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	12	9	6	133%	200%	49	111	94	44%	52%
	船客数	10,467	1,176	11,357	890%	92%	45,354	22,875	142,298	198%	32%
日中国際フェリー (新鑑真・蘇州號)	隻数	4	4	2	100%	200%	26	52	28	50%	93%
	船客数	0	0	194	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	2	5	0	40%	-	3	53	11	6%	27%
	船客数	1,081	1,176	0	92%	-	2,698	18,387	7,385	15%	37%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	6	0	4	-	150%	20	4	52	500%	38%
	船客数	9,386	0	11,163	-	84%	42,656	4,468	131,125	955%	33%

中突堤ターミナル		11月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	1	0	7	-	14%	21	8	56	263%	38%
	船客数	346	0	3,621	-	10%	11,391	3,808	38,429	299%	30%
日本船 (内航)	隻数	1	0	6	-	17%	11	3	42	367%	26%
	船客数	346	0	3,041	-	11%	6,348	773	29,813	821%	21%
日本船 (外航)	隻数	0	0	1	-	0%	1	0	5	-	20%
	船客数	0	0	580	-	0%	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	0	0	0	-	-	9	5	9	180%	100%
	船客数	0	0	0	-	-	4,403	3,035	6,330	145%	70%

■全体

11月はR4年度比で隻数+4、船客は+9,637。R1年度比で隻数±0、客数は▲4,165。
大きさをランクが異なる様々な客船が寄港し、寄港客は日本の紅葉の美しさを楽しんだ。

■ポートターミナル

11月の入港実績は12。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国船の「STAR BREEZE」が1、「SEVENSEAS EXPLORER」が2、「MSC BELLISSIMA」が2、「DIAMOND PRINCESS」が1。日本船の「にっぽん丸」が2。

■中突堤

11月の入港実績は「にっぽん丸」の1のみ。

【クルーズ船】2024年1月以降の入港予定情報



1～2月は外国船寄港のオフシーズン、日本船の「にっぽん丸」のみが入港予定

1月

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
にっぽん丸	1/12(金)15:00～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	1/15(月)9:00～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル

2月

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
にっぽん丸	2/6(火)9:00～2/8(木)17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	2/29(木)9:30～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル

1～3月期の入港隻数の比較と推移

	コロナ前			予定	2019年比
	2019	2022	2023	2024	
1月	5	1	1	2	40%
2月	2	1	4	2	100%
3月	14	5	10※	18	128%
1-3月計	21	7	15	22	105%

※2023年3月 外国クルーズ船再開



▲にっぽん丸

2024年3月は5隻の初入港含む18隻が入港予定。
3月単月、1-3累計共にコロナ前の2019年実績を上回る隻数となる見込み。

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

神戸市：客船入港予定 (kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

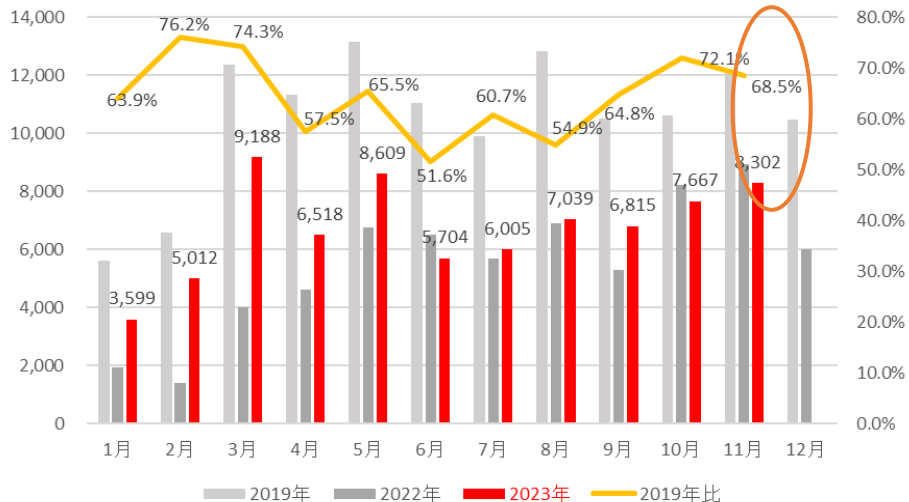
※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

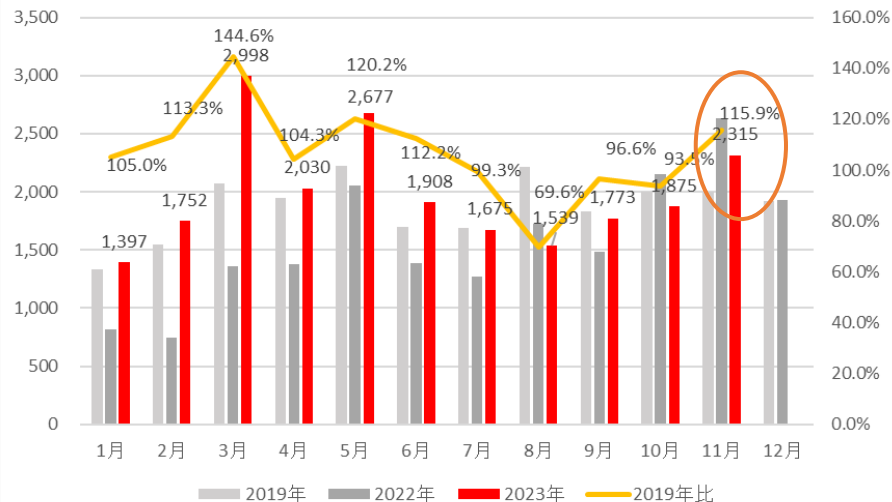
市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.11)



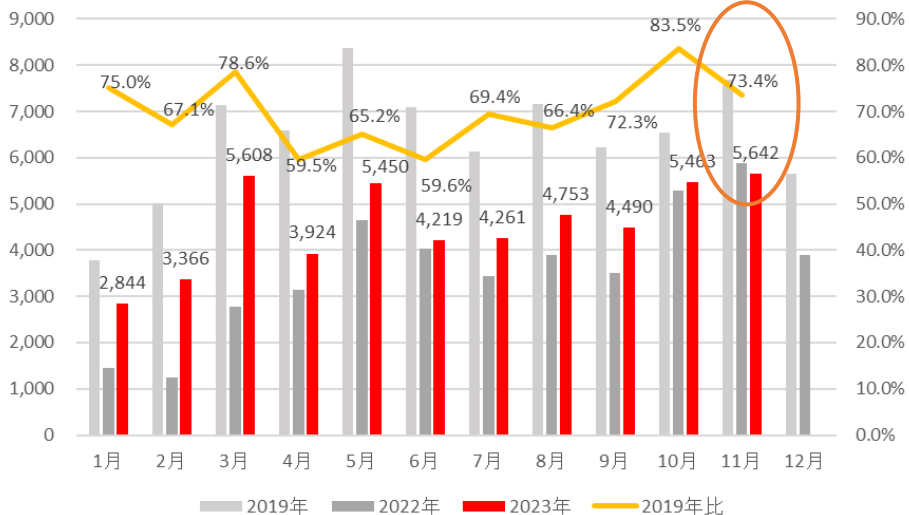
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

行楽シーズンで多数来館。マラソンや優勝パレードなどに関する問い合わせも多い。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

修学旅行シーズンで団体客目立つ。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

紅葉シーズンでハイキングが客多数。

11月案内所全体件数 16,259件 ⇒ 前月比 108% 2019年比 74.5%

市内観光案内所 観光客対応概況 (2023.11～2023.12)



○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日400件ほど・休日570件ほど。
- 〔客層〕
- ・ 国内年配者、中高年のグループが目立つ。クルーズ船乗客。
 - ・ インバウンドは、アジア系中心、欧米系はアメリカ、フランス、オーストラリアなど。
- 〔行き先〕
- ・ 国内、モダン建築祭・アトア・酒蔵・ハーブ園・六甲ガーデンテラスなど。
 - ・ アジア系、有馬・ハーブ園・南京町・メリケンパーク・姫路城・淡路島・どうぶつ王国など。
 - ・ 欧米系、有馬・布引の滝・六甲山・県立美術館・森林植物園・酒心館など。
- 〔内容〕
- ・ **マラソン前日や翌日に観光するランナーや、当日付添いのご家族が観光案内で来館。**
 - ・ **優勝パレード、ルミナリエに関する電話問い合わせが多数。** ロケ地マップの要望多い。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時 (3月～10月)

9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日80件ほど・土日120件ほど。
- 〔客層〕
- ・ 国内、中高年の女性グループ・修学旅行・校外学習の生徒・クルーズ船乗客。
 - ・ インバウンドは、韓国・中国・台湾のアジア系・他ドイツ・フランス・イギリスなど。
- 〔行き先〕
- ・ 国内、北野周辺のパン屋・カフェスイーツの店・ハーブ園・南京町・アトアなど。
 - ・ アジア系、各異人館・スターバックスコーヒー・ハーブ園・南京町など。
 - ・ 欧米系、ハーブ園、ハーバーランド・安藤忠雄建築・竹中大工道具館など。
- 〔内容〕
- ・ 「**風見鶏の館**」の休館案内をするケースが多い。モダン建築祭で訪れる方など。
 - ・ 国内外ともに、うろこの家「世相サンタ」目的の方が多数。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日200件ほど、土日290件ほど。
- 〔客層〕
- ・ 国内、学会参加者・クルーズ船乗客・女性グループ・修学旅行生・ひとり旅。
 - ・ インバウンドは、アジア系中心。
- 〔行き先〕
- ・ 国内、市内観光の相談・ハーブ園、ハイキング案内・六甲山夜景・京都・姫路など。
 - ・ アジア系、有馬・六甲・三田アウトレット。**ハーブ園・滝への案内がアジア系でも増加傾向。**
 - ・ 欧米系、紅葉目的・温泉・ハイキング関連の問合せ。ホテルへのアクセス案内など。
- 〔内容〕
- ・ レンタカーや淡路方面のバス、六甲山・有馬アクセス、ハーブ園・滝の問合せ多数。
 - ・ **ルミナリエに関する電話問合せ。** 優勝パレードに伴う変更説明に時間を要した。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.11)



国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	358	115	24
	中国	479	71	71
	台湾	275	56	77
	香港	266	37	30
	タイ	171	27	83
	シンガポール	160	19	94
	マレーシア	76	15	43
	インドネシア	38	15	38
	フィリピン	35	1	76
	ベトナム	10		3
	インド	18	1	21
	パキスタン	1		0
	バングラデシュ			
	その他アジア	1213	7	204
中東	イスラエル			10
	トルコ			
	イラン			
	その他中東	13	2	10
ヨーロッパ	英国	30	4	22
	フランス	54	25	87
	イタリア	9	15	21
	ロシア	5	2	2
	ギリシャ			
	アイルランド	2	1	1
	その他ヨーロッパ	463	20	112
アフリカ	南アフリカ共和国			
	エジプト			
	その他アフリカ	4		2
北アメリカ	米国	82	20	124
	カナダ	15	7	41
	メキシコ	3		13
	その他北米	10		2
南アメリカ	ブラジル	3	2	15
	アルゼンチン			2
	コロンビア			2
	その他中南米	10		1
オセアニア	オーストラリア	40	9	80
	ニュージーランド	4		8
	その他オセアニア	2		
地域不明	3	2	422	
(人)	3852	473	1741	

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,852人、前月比102%。
コロナ禍以前2019年同月比75%。
- ・外国客船の入港もあったが、ツアーバスを利用して関西エリアを観光される方が多く、案内所に立ち寄る方は少ない。
- ・アジア系は市内周遊観光バスを利用して市街地を観光、欧米系は全くのノープランでおすすめの観光地を尋ねる方がほとんど。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者473人、前月比70%。
コロナ禍以前2019年同月比67%。
- ・アジア系が約80%、うち韓国30%、中国20%、台湾15%、香港10%で、前月とほぼ同じ割合。
- ・案内所に設置してあるスタンプが引続き人気。
- ・布引ハーブ園へのアクセス問合せが多数。
- ・森林植物園の紅葉についての質問などに対応。

〔新神戸観光案内所より概況〕

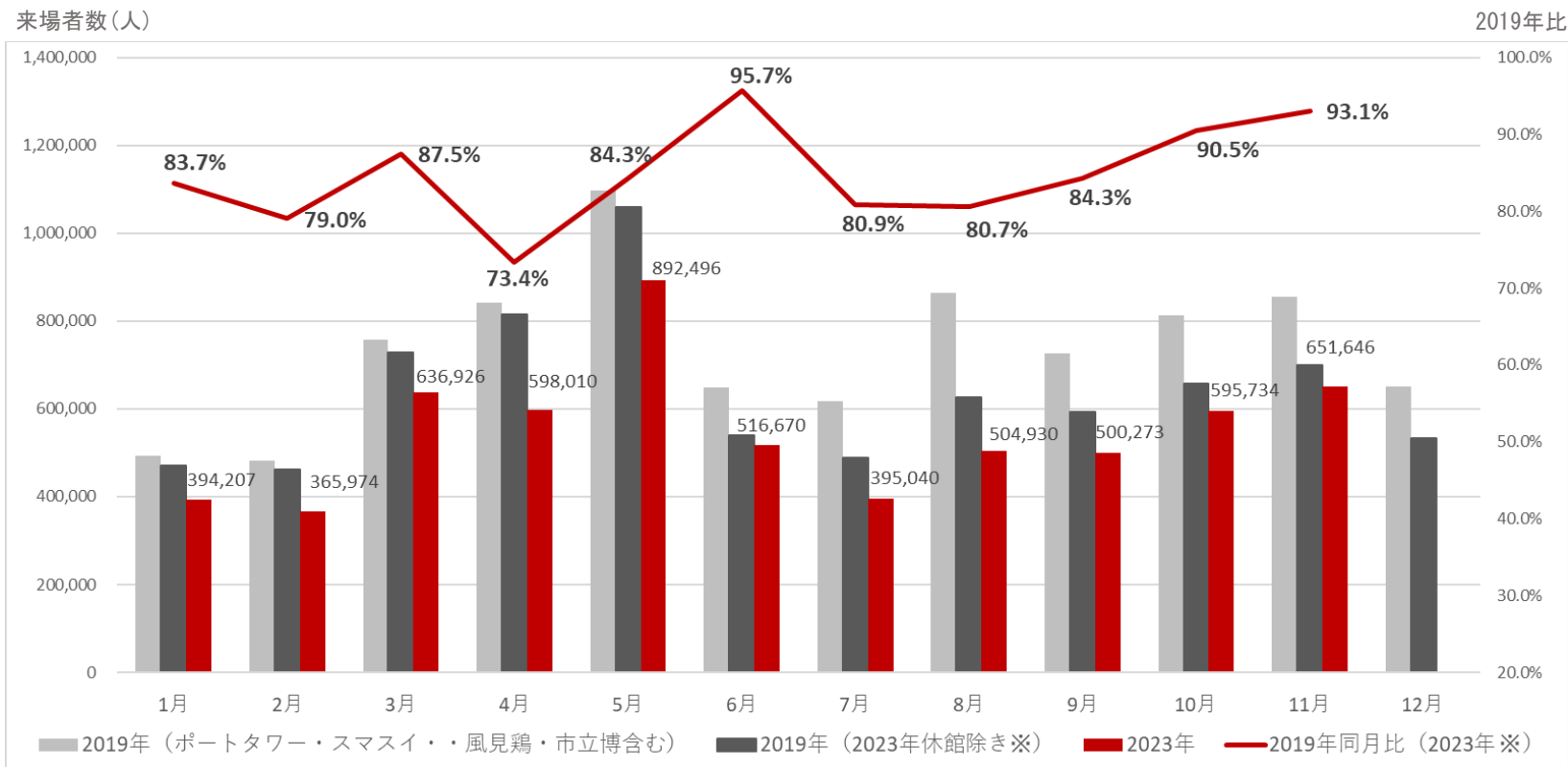
- ・外国籍利用者1,741人、前月比91%。
コロナ禍以前2019年同月比240%。
- ・今月は紅葉スポットと紅葉状況を尋ねる方が多かった。季節柄、ハイキングに出かける方が増え、六甲山系（再度公園・摩耶山など）のハイキングコースの案内がいつも以上に多い。
- ・真珠購入希望、刃物（三木）をつくっているところの見学希望、数日間ロッカーに荷物を預けることは可能かなど、問合せ内容が以前に比べ多様化してきている。

11月案内所全体件数 6,066件 ⇒ 前月比95%
2019年比92.6%

主要市内観光施設来場者数（2023.11）



- ・ 11月の来場者数は、約90%で推移。修学旅行等の団体客により来場者数が増えている施設もある。
- ・ 回復率（2019年比）は施設ごとに少しばらつきがあり、約60%～160%となっている。
- ・ インバウンドは台湾、韓国が中心。コロナ前の1.5倍のインバウンドが来訪している施設も。



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較（2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館）
 ※2019年の来場者数は、2023年時点で改装中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年（ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む）	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年（2023年休館除き※）	471,003	463,021	727,912	814,300	1,058,835	539,885	488,325	625,884	593,288	658,334	700,275	532,960	7,674,022
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646		
2019年同月比（2023年）※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%		

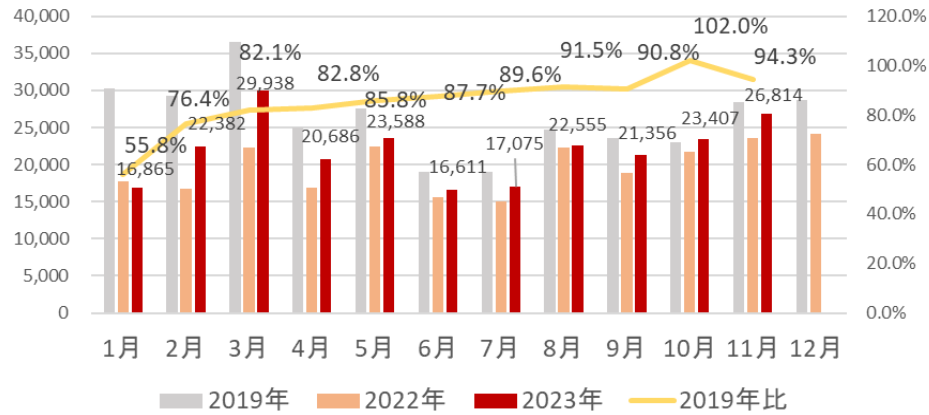
出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

集計対象施設：全19施設（ラインの館、北野工房のまち、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など）

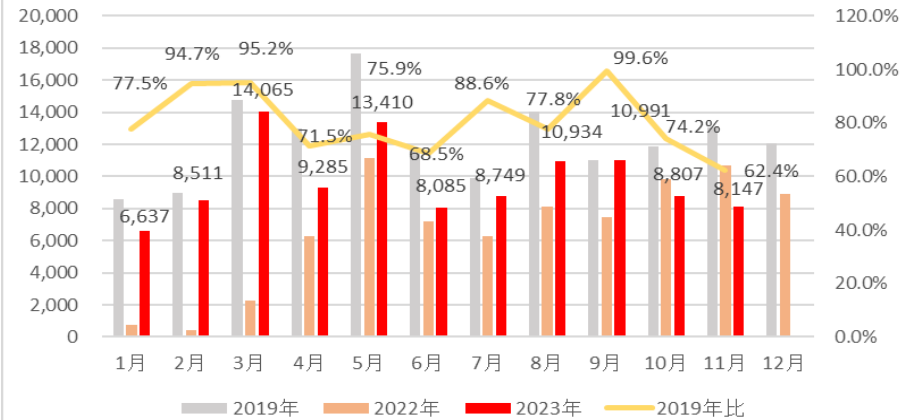
所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）



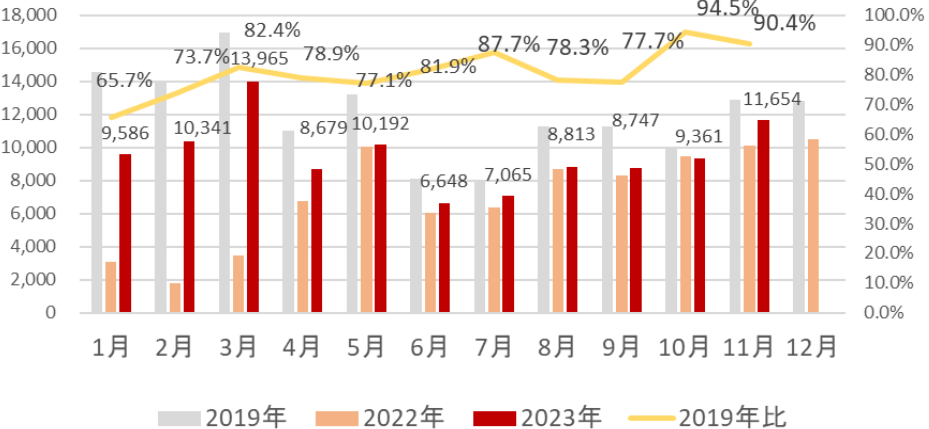
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

入館数、2019年比62.4% 9月までは順調に回復していたが、10月以降、「風見鶏の館」の休館による影響が出ている。



【コメント】

外国人の利用客は個人旅行の利用者が目立つが、韓国からの団体ツアーにもご利用いただいた。



神戸市内大型施設の主な催事情報(1～2月) 12月20日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



1月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目				2～7日 新春吉本お笑い バラエティショー2024		4～6日 ハンドボール 新春神戸 カップ
2週目				11～12日 JUNG YONG HWA (from CNBLUE)	7～8日 【神戸文化ホール開 館50周年記念事業】ジャズ大 名	
3週目	14日 第3回拡大学術研修 会	14日 マイナビ看護学生 就職セミナー	20～21日 Bリーグ 2023- 24 B2リーグ 戦 第17節 神戸ストークスVS. 熊本ヴォルターズ		14日 神戸フィルハーモニッ クニューイヤーコンサート 2024	14日 リアルチャンピオンシップ 全日本少年少女空手道選手権大会
4週目	27日 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会	24～25日 2024春夏もの 日本シューズ産業見本市 24～25日 第177回 2024夏 日本グランドシューズコレ クション&全国サンダル フェア2024	27～28日 Bリーグ 2023- 24 B2リーグ 戦 第18節 神戸ストークスVS. 岩手ビッグブルズ	21日 桂文珍	20日 大阪大学交響楽団 第122回定期演奏会 21日 第14回 演奏会	26日 近畿児童自立支援施設 男女 卓球大会 27日 神戸市教職員卓球交流会
5週目	29～30日 The 6th R-CCS International Symposium				28日 PRAY FROM KOBE 2024～明日につなげるコン サート～ 31日 第3回 ノマドオペラin神 戸 歌劇「椿姫」公演	28日 兵庫県少年消防クラブ 交流 大会
2月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	1～7日 関西大学 入学試験	1～7日 関西大学 入学試験	3日 =LOVEアリーナツ ア-2024 「Tell me what's more than "LOVE"」			
2週目		4～6日 2024年度 同志社大 学一般選抜入学試験 8日 マイナビ就活直前フェ ア神戸会場 9～10日 2024年度 同志社 大学一般選抜入学試験	10～11日 Bリーグ 2023- 24 B2リーグ 戦 第21節 神戸ストークスVS. 青森ワッツ			10～18日 第18回兵庫オープンテ ニス選手権大会 (ベテラン)
3週目	17～18日 日本臨床心理学 会第59回大会			11日 AI "RESPECT ALL" TOUR	11～12日 神韻2024 日本公演	11日 兵庫県柔道グランプリ2023 17～18日 兵庫県総合ハンドボール 選手権大会
4週目	20日 わたしのキャリア研 究会「企業座談会」 24～25日 第38回日本がん 看護学会学術集会	24～25日 第38回日本がん 看護学会学術集会		23日 我ら演歌第7世代！ スペシャルコンサート 2024 24日 手島葵 CONCERT 2024 ～Trio～	18日 「音楽のまち神戸」ス ペシャルコンサート-酒井麻生 代 meets 広瀬未来カルテット 2024	24～25日 JFA第29回全日本フット サル選手権神戸ラウンド 24～25日 第53回春季ジュニアテ ニス選手権大会U-14
5週目				27日 梅沢富美男 & 研ナ オコアッ!とおどろく 『夢芝居』2024		

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

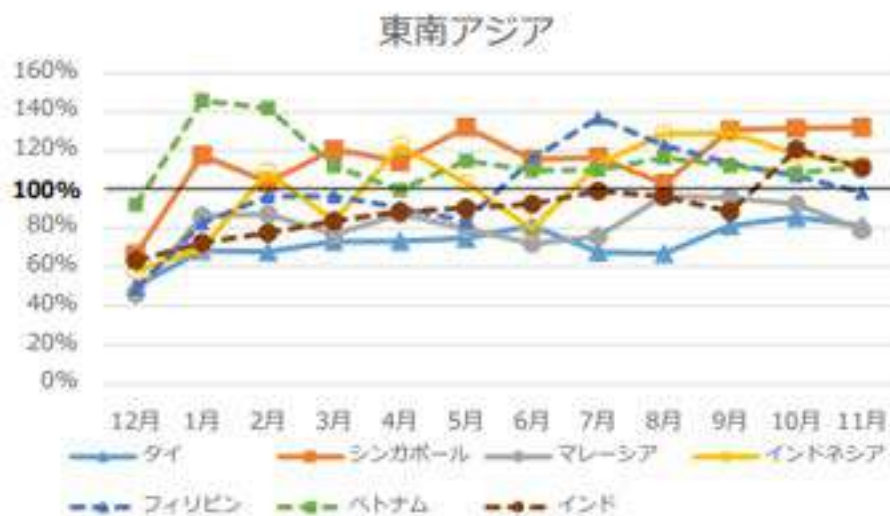
2023年11月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 11月	2023年 11月	伸率(%)	2019年 1月～11月	2023年 1月～11月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,441,274	2,440,800	0.0	29,355,662	22,332,000	-23.9
韓国	South Korea	205,042	649,900	217.0	5,336,638	6,175,800	15.7
中国	China	750,951	258,300	-65.6	8,884,160	2,112,600	-76.2
台湾	Taiwan	392,102	403,500	2.9	4,542,333	3,802,900	-16.3
香港	Hong Kong	199,702	200,400	0.3	2,041,150	1,863,300	-8.7
タイ	Thailand	140,265	114,100	-18.7	1,154,041	869,800	-24.6
シンガポール	Singapore	65,295	86,100	31.9	391,876	477,600	21.9
マレーシア	Malaysia	64,987	51,400	-20.9	423,342	355,000	-16.1
インドネシア	Indonesia	37,213	42,100	13.1	353,576	365,700	3.4
フィリピン	Philippines	64,763	63,700	-1.6	531,572	543,100	2.2
ベトナム	Vietnam	41,892	46,800	11.7	464,445	536,800	15.6
インド	India	14,863	16,500	11.0	164,157	152,800	-6.9
豪州	Australia	48,327	59,600	23.3	549,118	523,600	-4.6
米国	U.S.A.	148,993	184,800	24.0	1,579,363	1,862,800	17.9
カナダ	Canada	33,316	39,000	17.1	340,130	389,400	14.5
メキシコ	Mexico	6,494	9,900	52.4	65,246	85,700	31.3
英国	United Kingdom	37,709	29,500	-21.8	396,529	297,600	-24.9
フランス	France	24,290	24,200	-0.4	316,072	259,800	-17.8
ドイツ	Germany	19,525	18,600	-4.7	222,905	221,600	-0.6
イタリア	Italy	12,350	13,400	8.5	151,573	141,800	-6.4
スペイン	Spain	10,535	11,000	4.4	122,948	109,500	-10.9
ロシア	Russia	13,142	5,900	-55.1	111,210	38,700	-65.2
北欧地域	Nordic Countries	12,157	9,400	-22.7	131,131	105,700	-19.4
中東地域	Middle East	9,836	8,000	-18.7	89,606	102,300	14.2
その他	Others	87,525	94,700	8.2	992,541	938,100	-5.5

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

2022年12月～2023年11月訪日外客推移（2019年同月比）



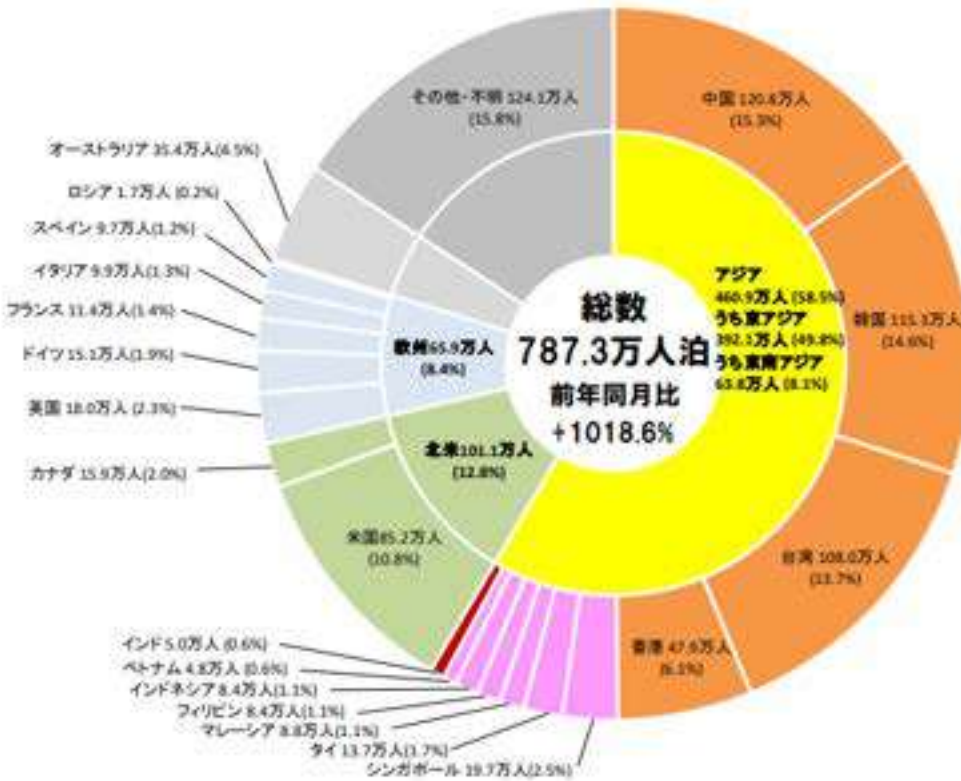
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.9月）



- 令和5年9月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が韓国、第3位が台湾、第4位が米国、第5位が香港で、上位5ヵ国・地域で全体の60.5%を占める。
- 中国が1位となり着実な回復が見られる。多くの国で2019年を上回る回復率を見せており、特に2019年同月比で最も伸びたのは韓国(2019比+238.6%増)、続いてカナダ(+73.4%増)、シンガポール(+49.9%増)。

順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		(人泊)	シェア		
第1位	中国	1,208,390	15.3%	-48.3%	+2406.0%
第2位	韓国	1,152,950	14.6%	+238.6%	+1775.9%
第3位	台湾	1,080,210	13.7%	+11.0%	+6246.7%
第4位	米国	851,730	10.8%	+43.3%	+518.6%
第5位	香港	479,480	6.1%	+7.0%	+3120.1%
第6位	オーストラリア	353,750	4.5%	+25.6%	+1779.6%
第7位	シンガポール	197,400	2.5%	+49.9%	+904.1%
第8位	英国	180,280	2.3%	-30.3%	+881.9%
第9位	カナダ	158,840	2.0%	+73.4%	+1490.0%
第10位	ドイツ	151,360	1.9%	+45.1%	+572.1%
第11位	タイ	137,410	1.7%	-9.4%	+449.2%
第12位	フランス	114,090	1.4%	+0.4%	+456.5%
第13位	イタリア	99,280	1.3%	+24.2%	+999.4%
第14位	スペイン	97,400	1.2%	+16.4%	+1179.9%
第15位	マレーシア	87,530	1.1%	+31.4%	+932.2%
第16位	フィリピン	84,040	1.1%	+27.4%	+425.3%
第17位	インドネシア	83,530	1.1%	+24.1%	+486.2%
第18位	インド	50,280	0.6%	+2.9%	+234.5%
第19位	ベトナム	48,250	0.6%	-9.8%	+148.6%
第20位	ロシア	16,630	0.2%	-53.8%	+410.1%
	その他	934,090	11.9%	+24.7%	+568.9%
	合計	7,873,370	100.0%	+8.8%	+1018.6%

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数(2023年9月(第2次速報))



【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数(2023年8月(第2次速報))



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.7~2023.9)



(延べ宿泊者数単位：人泊)

【順位】

順位	7月			8月			9月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
1	13東京都	4,116,960	156.2%	13東京都	3,755,730	156.6%	13東京都	3,860,080	166.7%
2	27大阪府	1,812,690	103.0%	27大阪府	1,704,020	112.0%	27大阪府	1,615,710	125.1%
3	26京都府	1,136,360	106.5%	26京都府	1,041,810	100.5%	26京都府	1,124,210	122.0%
4	01北海道	716,600	81.3%	01北海道	616,810	95.4%	47沖縄県	429,560	65.3%
5	47沖縄県	461,320	52.7%	47沖縄県	464,070	59.0%	01北海道	409,780	96.3%
6	40福岡県	416,050	108.8%	40福岡県	439,750	145.7%	40福岡県	392,650	165.7%
7	12千葉県	354,520	66.3%	12千葉県	296,850	72.1%	14神奈川県	232,250	87.5%
8	14神奈川県	243,110	81.0%	14神奈川県	260,070	89.0%	12千葉県	230,950	66.5%
9	23愛知県	178,730	53.8%	23愛知県	161,430	51.7%	23愛知県	166,810	64.3%
10	34広島県	125,460	98.6%	34広島県	133,050	126.7%	34広島県	121,470	130.1%
11	19山梨県	115,220	57.7%	44大分県	100,250	145.2%	19山梨県	96,580	76.1%
12	44大分県	94,740	105.6%	19山梨県	98,260	55.2%	44大分県	94,770	180.0%
13	22静岡県	94,430	34.6%	22静岡県	93,870	37.1%	17石川県	88,040	131.4%
14	21岐阜県	90,820	74.5%	43熊本県	89,700	131.3%	22静岡県	86,540	39.7%
15	28兵庫県	80,660	64.4%	17石川県	80,660	117.6%	28兵庫県	85,590	90.9%
16	20長野県	70,120	78.2%	21岐阜県	74,750	62.9%	21岐阜県	78,950	76.9%
17	43熊本県	68,920	90.8%	28兵庫県	74,550	74.6%	43熊本県	75,400	132.5%
18	17石川県	64,780	73.7%	20長野県	63,820	82.7%	20長野県	70,320	95.4%
19	30和歌山県	52,030	85.4%	04宮城県	47,540	101.8%	30和歌山県	49,660	99.1%
20	04宮城県	43,800	98.7%	30和歌山県	46,550	94.4%	09栃木県	42,440	190.3%
21	42長崎県	41,710	64.5%	42長崎県	40,290	79.3%	37香川県	42,340	68.1%
22	37香川県	39,080	53.4%	29奈良県	32,650	61.4%	04宮城県	40,080	87.8%
23	09栃木県	34,960	164.5%	37香川県	32,080	45.4%	42長崎県	35,310	94.2%
24	33岡山県	31,670	70.4%	33岡山県	29,820	69.2%	33岡山県	28,530	84.2%
25	29奈良県	31,600	53.3%	09栃木県	29,000	145.2%	29奈良県	26,430	63.5%
26	46鹿児島県	28,950	45.0%	46鹿児島県	25,920	46.9%	46鹿児島県	24,540	45.0%
27	03岩手県	20,520	98.3%	03岩手県	22,530	93.6%	25滋賀県	20,980	77.8%
28	02青森県	19,750	69.6%	02青森県	20,440	68.2%	08茨城県	20,920	121.5%
29	10群馬県	18,990	114.3%	25滋賀県	20,370	76.6%	03岩手県	20,070	132.0%
30	25滋賀県	18,990	55.4%	11埼玉県	16,570	102.9%	15新潟県	18,560	111.5%

順位	7月			8月			9月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
31	11埼玉県	17,680	78.5%	38愛媛県	16,260	95.0%	02青森県	17,790	81.0%
32	07福島県	17,430	131.3%	08茨城県	14,200	90.9%	24三重県	16,870	80.0%
33	15新潟県	16,850	54.3%	39高知県	13,980	152.8%	07福島県	15,730	173.0%
34	08茨城県	16,200	84.2%	15新潟県	13,600	74.4%	39高知県	15,250	228.6%
35	24三重県	14,260	34.4%	24三重県	13,030	37.0%	38愛媛県	14,800	108.9%
36	38愛媛県	13,930	76.5%	07福島県	12,830	100.6%	16富山県	14,720	65.8%
37	45宮崎県	12,630	55.9%	10群馬県	12,780	85.5%	11埼玉県	13,810	78.2%
38	16富山県	12,200	41.9%	41佐賀県	12,590	55.5%	10群馬県	12,990	70.9%
39	41佐賀県	11,110	34.8%	16富山県	11,440	48.0%	41佐賀県	11,220	63.7%
40	36徳島県	10,890	114.2%	36徳島県	11,310	88.7%	36徳島県	10,610	110.2%
41	39高知県	10,150	127.2%	05秋田県	9,850	85.8%	45宮崎県	8,370	39.0%
42	31鳥取県	7,570	40.9%	31鳥取県	9,330	72.8%	31鳥取県	7,330	73.4%
43	05秋田県	7,390	76.5%	06山形県	7,210	76.0%	05秋田県	7,290	69.1%
44	06山形県	7,310	61.1%	35山口県	6,230	96.3%	06山形県	6,810	67.6%
45	35山口県	6,650	80.6%	45宮崎県	6,130	29.8%	35山口県	6,760	109.9%
46	18福井県	4,210	65.6%	32島根県	5,950	88.5%	18福井県	5,000	77.0%
47	32島根県	4,120	48.9%	18福井県	5,160	83.0%	32島根県	4,600	75.9%
全国		10,814,130			10,095,050			10,095,050	

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和5年9月・第2次速報)

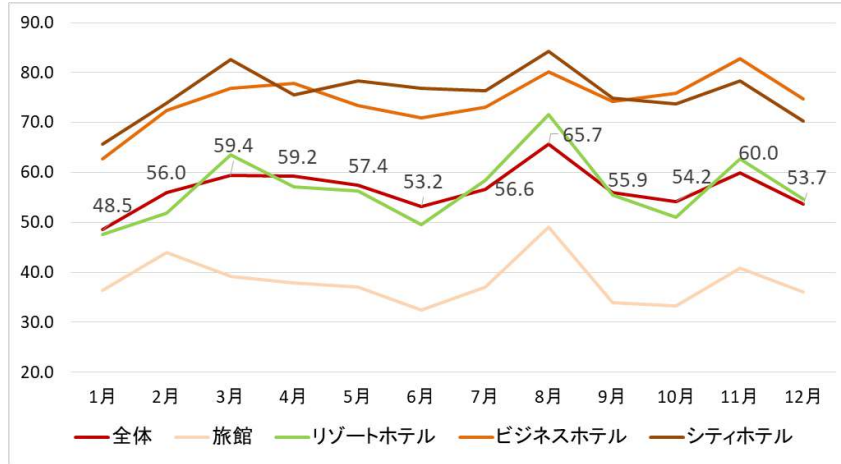
- 外国人延べ宿泊者数のトップ3は、4月以降、東京都、大阪府、京都府。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。
- 兵庫県は、2019年9月比では9割程度の回復率。2023年4月以降、約6~7割で推移しており、9割まで回復するのはコロナ禍後初めて。
- 神戸と同様に政令市の横浜市、名古屋市がある神奈川県、愛知県は、それぞれ約8割、約6割の回復率となるなど、依然、地域によってばらつきが生じている。

宿泊タイプ別客室稼働率

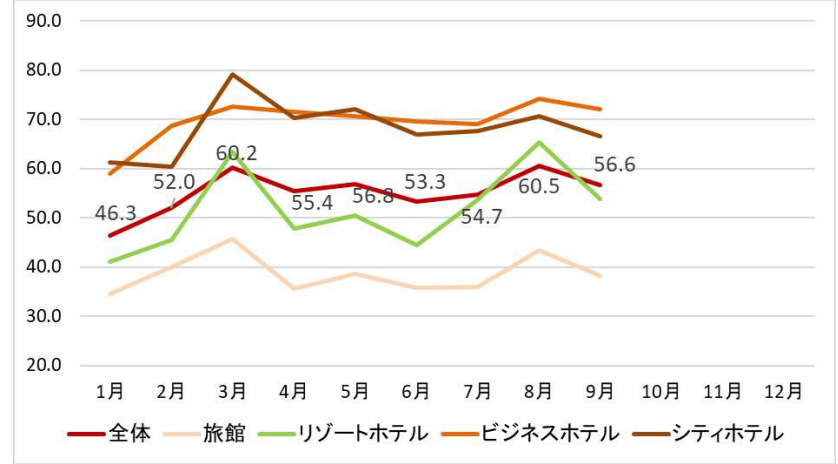
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

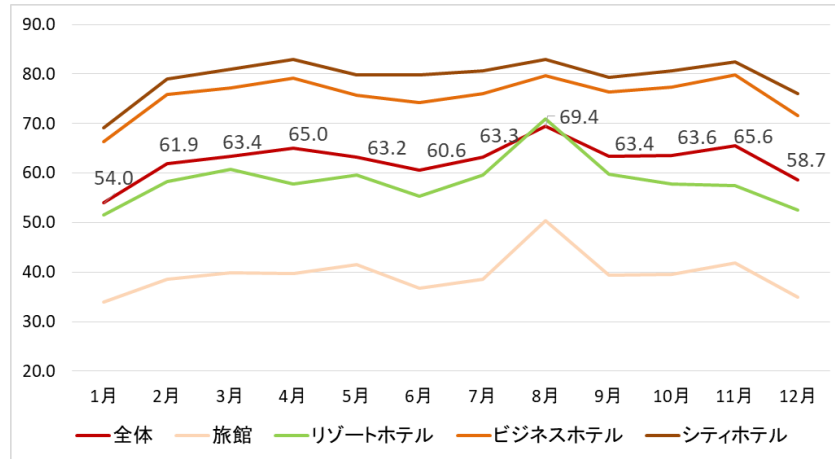


(2023年)

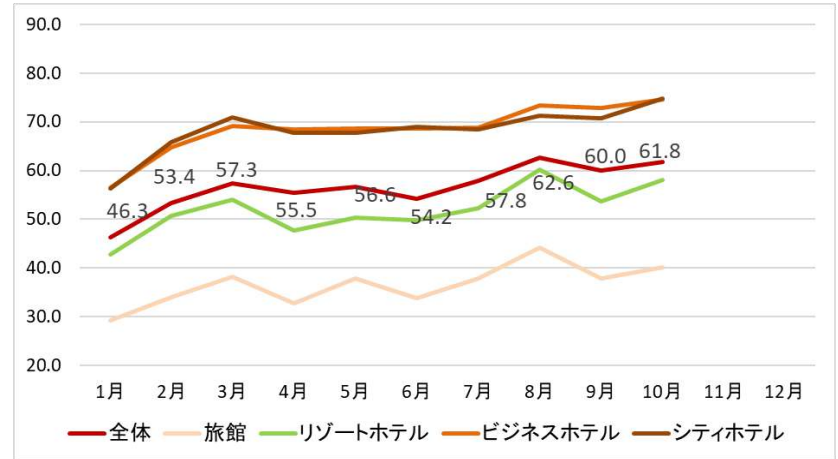


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年12月1週目比 2023年12月1週目比

地域	2019年12月1週目比	2023年12月1週目比
世界	-3.1%	0.3%
西欧	-5.0%	0.9%
東欧	-17.8%	1.1%
北米	2.0%	-0.3%
中米	13.3%	1.5%
南米	5.2%	-1.8%
東アジア	-3.4%	-0.8%
東南アジア	-20.0%	1.2%
中東	-0.6%	-0.1%
太平洋(豪州ほか)	-5.5%	1.4%

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

世界の運航状況は、2019年の同じ週の座席数を3.1%下回っている。2023年通年座席数は55億席で安定しており、2019年比▲3.7%、2022年比+17.3%で推移する見通し。

世界の座席利用率(2023年10月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	82.1% 0.7p	82.9% 3.2p	日本	79.8% 2.2p
欧州	85.6% -0.3p	85.1% -1.1p	中国	80.6% -4.8p
北米	83.6% -0.2p	83.9% 1.5p	インド	83.7% 0p
中南米	84.8% 3.2p	85.3% 4.2p	米国	83.2% -1.5p
中東	80.6% 7.1p	80.6% 7.0p	豪州	83.0% -0.7p
合計	83.1% 1.0p	83.2% 2.0p	合計	83.0% -0.6p

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

- ・10月の世界の航空券売上高は、2019年の水準に近づく傾向にある。
- ・航空旅客数は前年比131%、RPKは2019年比98.2%となっている。

※RPK (Revenue Passenger-Kilometers)
各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年11月～2023年10月) 12月12日時点



関西国際	2022年 11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総旅客数(人)	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675	2,123,912	2,265,940	2,101,187	2,279,864
2019年比(%)	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34	-30	-24	-29	-15	-10
国際線 発着数(回)	5,554	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786	9,663	9,903	9,918	10,361
2019年比(%)	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36	-34	-30	-28	-22	-19
外国人 旅客数(人)	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837	1,202,909	1,211,871	1,114,589	1,328,258
2019年比(%)	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33	-28	-22	-12	-4	+1
国内線 旅客数(人)	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419	597,974	619,088	606,585	621,524
2019年比(%)	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4	-2	-2	-6	+2	+10

神戸	2022年 11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内線発着 回数(回)	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744	3,059	2,919	2,897	3,090
2019年比(%)	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8	+14	+19	+7	+4	+11
国内線 旅客数(人)	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898	290,661	313,651	296,352	312,315
2019年比(%)	-40	-32	-25	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+6

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年11月～2023年10月)

12月13日時点



路線	内容	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新千歳	旅客数(人)	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985	54,162	55,414	53,866	50,225
	利用率(%)	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0	86.3	91.3	88.4	79.2
青森	旅客数(人)	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550	3,566	4,113	3,357	3,669
	利用率(%)	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4	68.5	81.7	66.6	70.4
花巻	旅客数(人)	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022	3,304	4,168	3,508	3,508
	利用率(%)	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0	63.4	82.7	69.7	67.4
仙台	旅客数(人)	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719	14,945	18,479	18,116	19,023
	利用率(%)	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0	68.1	88.5	85.3	86.7
新潟	旅客数(人)	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1,005	-	-	1,305	-	-
	利用率(%)	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5	-	-	77.7	-	-
茨城	旅客数(人)	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066	22,222	27,430	23,125	25,985
	利用率(%)	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3	67.5	86.1	72.6	78.9
羽田	旅客数(人)	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628	70,971	75,956	74,804	78,029
	利用率(%)	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7	79.1	88.0	86.0	86.1
松本	旅客数(人)	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729	7,489	7,906	7,766	8,125
	利用率(%)	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8	71.9	78.5	77.2	78.0
高知	旅客数(人)	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154	2,592	3,149	2,666	2,638
	利用率(%)	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7	49.8	63.5	52.9	52.9
長崎	旅客数(人)	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535	22,591	24,780	25,593	26,987
	利用率(%)	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0	68.6	81.9	80.3	83.3
鹿児島	旅客数(人)	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390	14,167	16,500	17,183	18,301
	利用率(%)	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7	64.5	83.2	80.9	83.4
那覇	旅客数(人)	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787	59,661	59,058	52,309	60,584
	利用率(%)	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1	72.5	83.5	70.9	79.4
下地島	旅客数(人)	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039	8,584	7,796	8,487	9,318
	利用率(%)	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3	78.2	84.7	82.7	84.9